

講座の目的

中学校・高等学校の表現の指導について、制作演習や講義、鑑賞演習を通して、美術教育における表現の意義などを理解しながら、表現の指導の在り方や教材研究の仕方を学び、その識見と指導力を高める。

対象と定員

12名
(中・高12名・特支)

期 日

平成31年9月30日(月)～10月1日(火)

研修内容

- 表現の指導の在り方
- 表現の多様性
- 表現の評価の在り方 等

担当者からのメッセージ



美術界で活躍中の作家を講師に招き、表現の極意を学ぶ講座。
版画家で多摩美術大学教授の 佐竹邦子 先生に版画や技法、
大学での研究実践などについてご紹介いただきます。

版を彫るのではなく、描画した線やタッチの表情を水と油の反発作用を利用して刷る版画技法「リトグラフ」。

木を版材にしたリトグラフの技法を学び、作品を制作する演習を通して、子どもたちの創造性を育む教材としての可能性を探ります。

佐竹邦子 「Winds Work - 54」 2013 木によるリトグラフ 90×65cm

